事例No.	2925
公表年度	R5
団体の属性	都道府県
団体名	群馬県

事例区分	DX

タグ	・ICT ・新たな政策手法の確立・活用 ・人材確保・育成

事例種類	DX

事例内容・タイトル

会員が主役のイノベーション創出拠点　NETSUGEN

出典

活力ある地域社会の実現に向けた情報通信基盤と利活用の在り方に関する懇談会（第2回）

会員が主役のイノベーション創出拠点

NETSUGEN

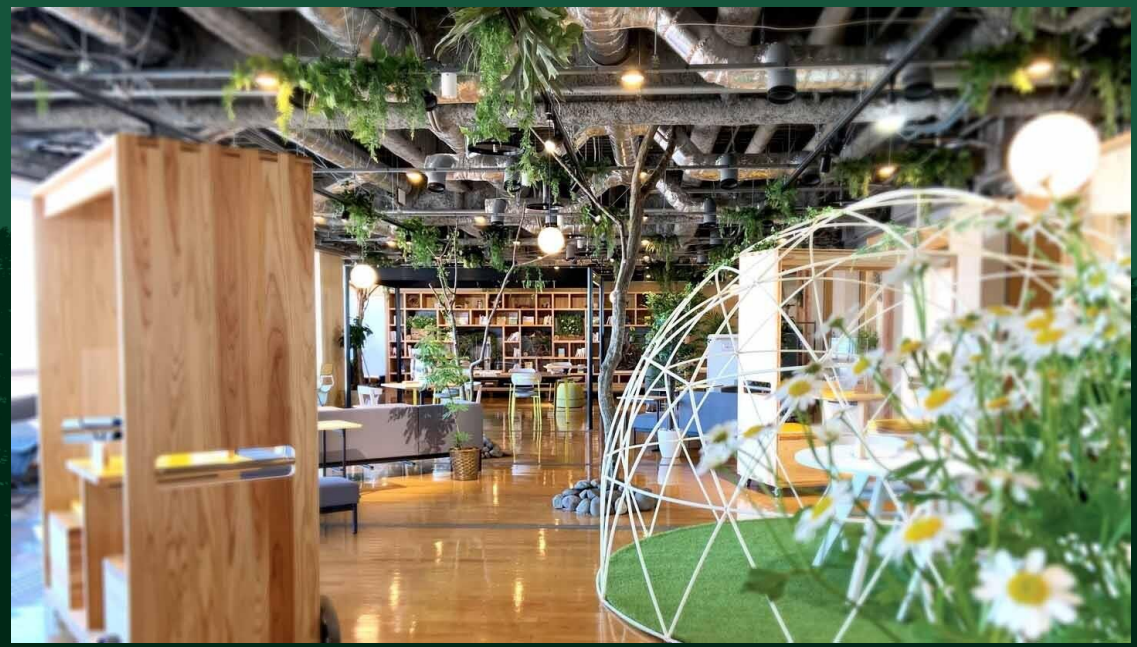
2024年2月5日
群馬県

施設概要



月額会員制の「官民共創スペース」

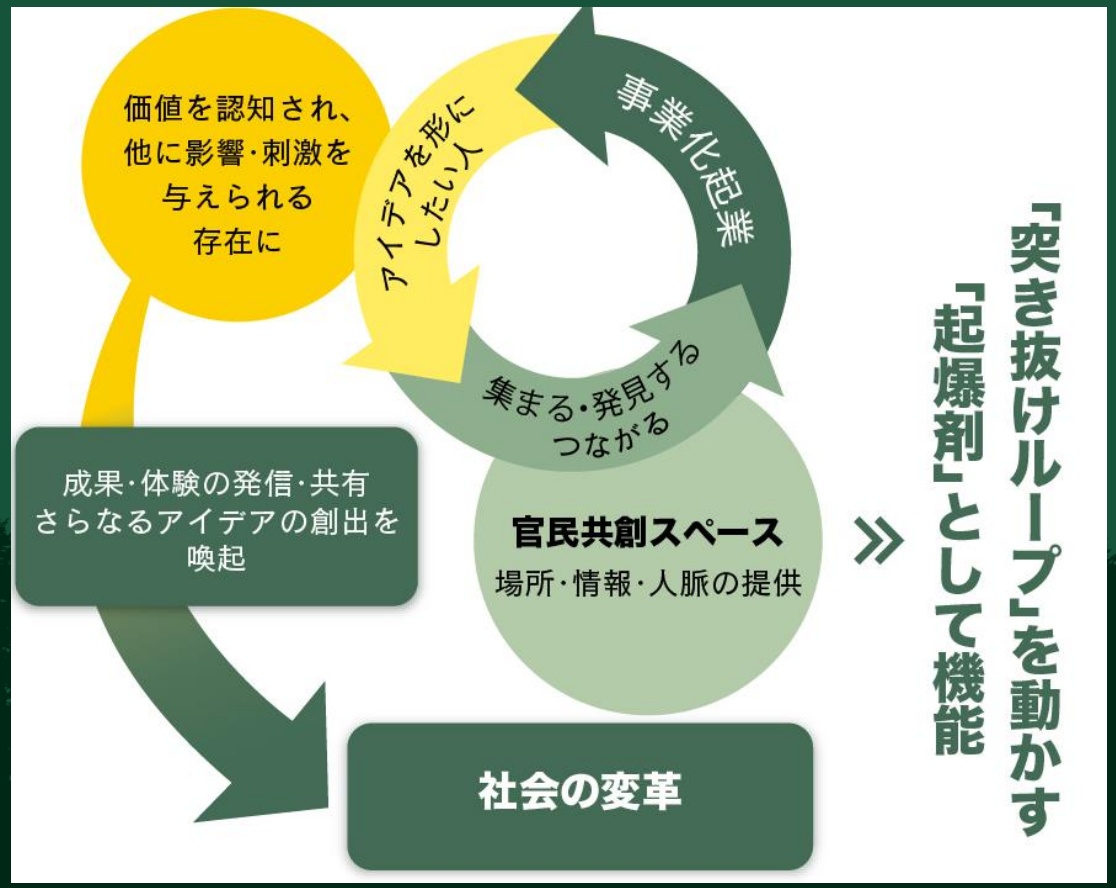
- 法人会員　25,000円/月
- 個人会員　10,000円/月
- ドロップインも可能



基本コンセプト

デジタル技術を活用してアイデアを形にしたい人や企業、支援者、事業者が集まり交流する場

地域課題、人材、デジタル技術、知識を集積・結合し、新たなイノベーションが生み出され、社会を変革



３つの機能

コワーキング
スペース

コーディネート

セミナー
交流事業

コワーキングスペース



約50席
平日　　午前10時から午後9時
土日祝日 午前10時から午後6時



コーディネート



コーディネーターと県庁職員が
一体となって会員の成長や
夢の実現のために徹底した伴走支援

【相談件数】
2022年度 235件
2023年度 261件（12月末）

セミナー・交流事業



- ハイブリッドなプレゼンテーション・スペース
- 月額会員は月に1度までスペースを無料で利用可能
- 年間約360回のイベントやセミナー

詳細はこちらをご覧ください

視察実績





- 2022年度　40団体、2023年度　57団体（1月末）
- 昨年11月からは視察を有料化、収益を施設整備に再投資

NETSUGENアライアンス



- 県内外のコワーキングスペース23施設と提携
- それぞれの施設が持つコミュニティーを共有し合い、会員のネットワークや活動領域の拡大をサポート





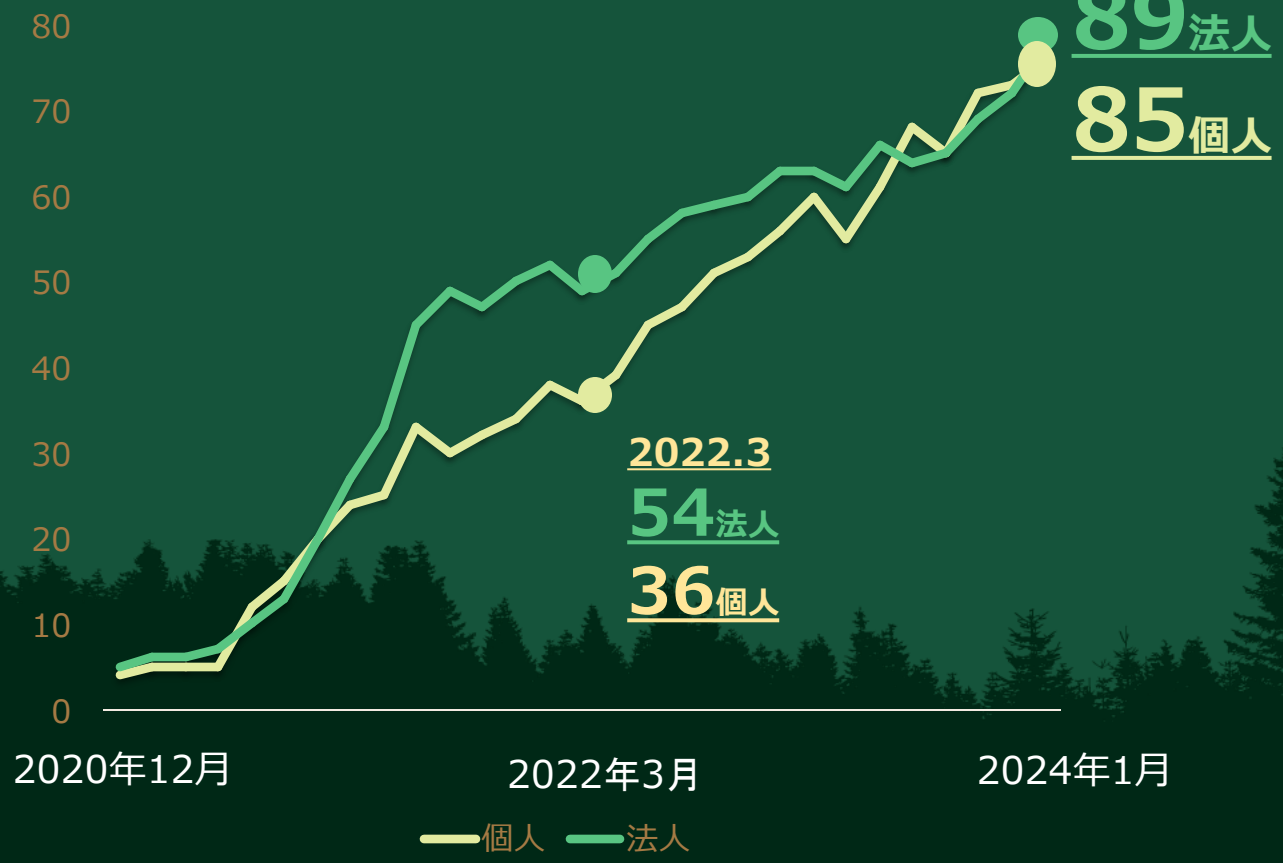


運営方針

- 会員の成長や夢の実現のため、徹底した伴走支援
  - » 会員と運営スタッフの一体感が醸成され、会員数は右肩上がりで増加中
  - » 約170の会員がそれぞれの分野で成長・活躍することで、地域の多様な課題を解決
- 自治体運営ながら、民間コワークと同額程度の月額会費を徴収
  - » 事業成長や新たな繋がりなど目的を持った人材が集まり、主体的な活動が生まれる
  - » 商工団体等に属さない層の受け皿に
  - » 県議会も総じて応援団（複数の県議が会員登録）
- アンケートや日々のコミュニケーションで会員ニーズを吸い上げ、迅速に改善
  - » 座り心地のよい座席の追加、フォンブース２台増設、机上ディスプレイの設置など
  - » 会員の利用満足度も高く（80%）、定着率も高い（半年以上継続率80%）

基本データ

月額契約会員



会費収入

2023年度見込み	36,000千円
2022	24,466千円
2021	14,725千円

会員による地域課題の解決例①

耕作放棄地の解消

障害者の仕事創出

地域に根ざした
商品開発

様々なコラボ
ビジネス展開

NETSUGENでの支援





資金調達から商品開発まで

ジャングルデリバリー

オリーブを核とする
農業系スタートアップ



会員による地域課題の解決例②

地元消費の拡大

認知度向上
販路拡大

商品のブランド化

様々なコラボ
ビジネス展開

NETSUGENでの支援





企画立上げから仲間づくりまで

駐車場をさがせ

駐車場検索サイトを運営する会社

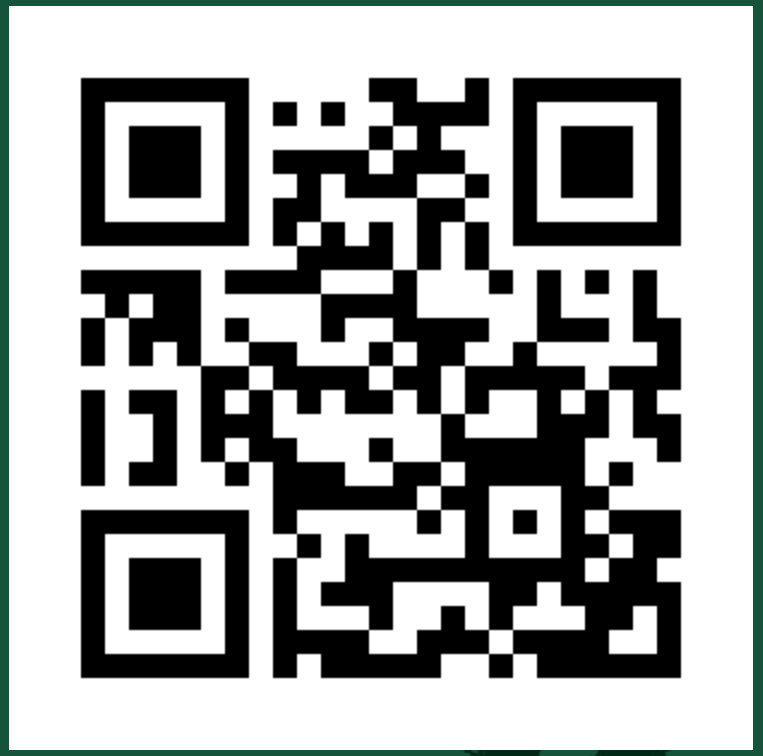


地域DXとの関わり

- 群馬県のデジタル施策の発信の場
  - » デジタル施策を推進する県庁各所属が、NETSUGENから様々な発信を実施
  - » マイナンバーカードを会員証として利用
- 群馬県におけるデジタルの機運醸成
  - » デジタルに関わる会員主催のプログラミング教室、DX相談会
  - » NPOと会員企業を橋渡し、次世代のデジタル人材育成
- デジタルの利便性を体験できる場であり、デジタル化の相談にも対応
  - » オンラインで完結する会員登録
  - » 完全キャッシュレス決済
  - » デジタルの利便性を県民に普及

今後の課題

- 増加する会員やイベントへの対応
  - » 31階に昨年整備されたマルシェ＆キッチン「GINGHAM」を有効活用、今後は一体的管理も検討
  - » アライアンスを順次拡大し、混雑を分散化
- 持続可能な取り組みへのチャレンジ①　「行政予算からの脱却」
  - » 約7千万円の運営費のうち約半分を会費収入で賄うレベルに、さらなる収入増を目指す
  - » 視察の収益を設備のアップデートに再投資
- 持続可能な取り組みへのチャレンジ②　「会員によるエコシステムの構築」
  - » 会員同士が自発的に繋がり、新たな価値を生み出すエコシステムの構築を目指す
  - » デジタル系の会員を含め、様々な会員同士がつながる機会を積極的に創出（お茶会や部活動）



ぜひNETUGENの視察にお越しください！(有料です)